

2020 年度大学入試センター試験 解説〈倫理, 政治・経済〉

第 1 問 青年期・現代社会分野

問 1 正解は④。

- A 「互いに結びついた一つの集まりとして捉えることにより、検証が可能」が入る。ここでは科学的な知識の体系が航行中の船になぞらえられ、いったん航海が始まれば、不具合が生じてもばらばらにすることができないとされている。
- B 「ホーリズム」が入る。ギリシア語の「ホロス=全体」に由来する語で、クワインが自身の立場を説明するときに「全体論」の意味で用いた。「パラダイム」はクーンの用語。

問 2 正解は④。

- ④ 図 1 により、日本で人間の仕事が AI に奪われると思うと答えた人は計 70.6%と、80%に満たない。また図 2 により、何も対応や準備をしていないと答えた人の割合は、日本は 51.2%で、アメリカの 22.8%の 2 倍を超えている。
- ① アメリカの就労者で、AI を使う側の立場で仕事や業務をするために対応や準備をすると答えた人の割合は、図 2 の 3 番目および 4 番目のグラフから、計 64.8%にのぼる。
- ② 日本の就労者で、これまで培ってきた知識やスキルで今とは別の仕事や業務をしようとして対応や準備をすると答えた人は、図 2 の 1 番目のグラフから、13.1%にすぎない。
- ③ アメリカの就労者で、今の仕事や業務を続けるために AI の知識やスキルを習得（等の対応や準備を）すると答えた人の割合は、図 2 の 4 番目のグラフから、46.7%にすぎない。

問 3 正解は③。

- ③ 資料文では、ケアする者が道徳的であろうとするのは、自分が苦しむ他者の現実と同じ状態であったかもしれないと考えることができるからであり、またそうした行為を通して自分の理想を高めることになるからだとされている。
- ① 他者からケアされることが大切だとは述べられていない。
- ② 苦しむ他者のニーズを満たすことで関係が破綻しても、それを行うのが責務であるとまでは述べられていない。
- ④ 他者に対する責務の念については、それを抱くべきだとも抱くべきでないとも述べられていない。

問 4 正解は③。

- ③ 人間の個性は遺伝と環境の両方によって影響されると考えられている。
- ① 「遺伝のみに影響される」が誤り。遺伝が子に影響を与えることは間違いでないが、たとえば一卵性双生児のように 100% 同一の遺伝子をもつ子であっても、個性の違いがある。
- ② 「環境のみに影響される」が誤り。環境が子に影響を与えることは間違いでないが、遺伝による影響も大きい。髪の毛や肌の色などの身体的特徴のほか、空間認知能力なども遺伝の要素が大きいとされる。
- ④ 個人的特徴は遺伝と環境の両方に強く影響される。

問 5 正解は④。

- ④ 誤文。リサイクルではなく、フェアトレードについての記述である。
- ① 正文。人種や宗教、政治的意見などを理由に本国政府からの保護が受けられなくなって国外に逃れた者を難民という。こうした難民の人道上の危機に対応するために難民の保護を担っている国際機関が、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) である。
- ② 正文。マララ・ユスフザイ (1997-) は、パキスタン出身の人権活動家。パキスタンにおける武装勢力が女子校を破壊するなどの活動に及んでいることを批判したため、15 歳のときに武装勢力から銃撃されるも、奇跡の回復を果たし、翌年には国連本部で女性の教育を受ける権利を訴える演説を行い、2014 年に 17 歳でノーベル平和賞を受賞した。
- ③ 正文。途上国への支援は各国による政府開発援助 (ODA) などの形でも行われている。日本が行っている JICA (国際協力機構) による青年海外協力隊の派遣もその一例である。

第 2 問 源流思想・日本思想分野

問 1 正解は③。

- ③ あらゆる事象には固定不変の本体がないというのは、大乘經典の『般若経』で説かれ、後にナーガールジュナ (龍樹) によって空の思想として体系化された教えである。
- ① 「小乗仏教」の表現は、上座部仏教に対して大乘仏教がつけた蔑称であり、上座部仏教の自称ではない。
- ② 大乘仏教において尊ばれている菩薩は、出家・在家を問わず、衆生済度のため悟りを目指す修行者を指す。
- ④ 大乘仏教ではなく上座部仏教についての説明である。大乘仏教は中国を経て朝鮮・日本へと伝わったため、北伝仏教と呼ばれる。

問2 正解は②。

- ② 『古事記』と『日本書紀』はいずれも奈良時代に編纂されたもので、そこには天皇の支配を正当化するとの意図が背景にあった。
- ① 日本では伝統的に八百万の神々への信仰が行われきたが、それは教義も教祖も存在しない漠然としたものだった。これが多かれ少なかれ体系化されるのは、仏教や儒教などの外来宗教との出会いを通して、一部はそれを取り込む形で、また一部はそれとの差異を際立たせる形で、という経過をたどった。したがって「外来思想の影響を受けることなく」は正しくない。
- ③ 伊弉那岐命と伊弉那美命は「国産みの神」と呼ばれるが、天地をつくったわけではない。天地はこれらの神々よりも古くに、おのずから「なった」とされている。
- ④ 罪や悪は、(キリスト教のように)人間の心の中から出てくるものではなく、外部から付着するものと考えられた。

問3 正解は④。

- ④ **孟子**は、力に基づく霸道政治を否定して仁義と天命に基づく王道政治を説いた。そして天命の有無は民衆による支持によって測られるとして、天命を失った君主への放伐を正当化した。
- ① **墨子**は侵略戦争を否定する「非攻」を説いた。
- ② 道を重んじて無為自然の理想社会を説いたのは、墨子ではなく**老子**である。「自給自足の生活を送る小さな共同体」とは小国寡民のこと。
- ③ 孟子ではなく**荘子**についての記述である。

問4 正解は④。

- ④ **山鹿素行**は儒学の原点に立ち返ることを説く**古学**の祖である。
- ① 山崎闇斎についての記述である。
- ② 山鹿素行は朱子学を批判する立場であり、そのため流罪になっている。
- ③ 後半の記述が朱子学者の山崎闇斎の説明となっている。

問5 正解は①。

- ① **徳富蘇峰**は自由民権運動にも影響を受けたキリスト者として出発し、平民主義を掲げるジャーナリストとして政府批判の論陣をはったが、日清戦争後には国家主義へと転じていった。
- ② 社会主義者・堺利彦についての説明。
- ③ 加藤弘之についての説明。
- ④ 森有礼についての説明。

問6 正解は④。

- A 「中江兆民」が入る。幸徳秋水の師であり、『三酔人経綸問答』の著者は中江兆民である。片山潜は幸徳秋水とともに日本の社会主義運動の黎明期を支えた一人。
- B 『『社会契約論』』が入る。中江兆民は「東洋のルソー」と呼ばれ、ルソーの『社会契約論』を初めて日本語に訳し、抄訳とはいえ『民約訳解』としてこれを日本に紹介した。『自由論』はミルの著作。
- C 「共和主義」が入る。公共の事柄(レス・プブリカ)に真摯に向き合える点に「市民(公民)の徳」があるとするのがアリストテレス以来の伝統であり、共通善を目指してよき共同体を建設しようとする立場を共和主義という。

問7 正解は②。

- ② 最終段落にある通り、伝統といっても自明のものではなく、各時代の解釈などによって形成されてきたものだというのが本文の最大のポイントである。
- ①③ 伝統が「常に同じ内容を保っている」という記述が誤り。
- ④ 伝統を「無から捏造したもの」とし、そこに「恣意性と虚構性」しかないとするのは言いすぎであり、本文にそうした記述はない。

第3問 源流思想・西洋近現代思想分野

問1 正解は③。

- ③ パウロは、神によって創造された最初の人間アダムが神の命令に背いたことを、万人に受け継がれた原罪であると説いた。
- ① イエスはファリサイ派に反対し、律法を遵守することのできない人々を導くことを自らの使命とし、そもそも万人が罪人であるとして悔い改めを求めた。
- ② 神の愛(アガペー)は無差別に無条件で万人に与えられている。イエスは人々に、この愛への応答として、神への愛と隣人愛の実践を求めた。
- ④ パウロは、イエスの十字架上の死によって人間の罪が贖われたと説いた。

問2 正解は①。

- ① ロックは所有権を人間の生来の権利として擁護したが、ルソーは財産の私的所有こそが今日の不平等の起源であるとして、そうした状況を乗り越える社会契約の必要性を訴えた。
- ② ロックは神が君主に権利を与えたとする王権神授説を批判した。またルソーが財産の平等な分配を主張したという事実はない。

- ③ ホッブズは、「万人の万人に対する闘争」を終わらせるために社会契約が求められると論じた。またロックは万人を制圧できるような「絶対的な権力」には批判的だった。
- ④ ホッブズは王権神授説をとっていないし、君主制には肯定的な立場だったので、万人が君主に戦いを挑むことを求めてもいない。またロックは絶対君主制を理論的に正面から批判した。

問3 15 正解は①。

- ① アリストテレスは、あるべき行為の基準として、中庸（メソテース）を挙げた。これは両極端を避けた適切さを意味するもので、無謀と臆病の中庸としての勇気がその典型である。
- ② すべては原子の寄せ集めであると考えるエピクロスにとって、人間の死とは、魂がバラバラに霧消してしまうことを意味する。したがって、生きているときには死は存在せず、死んでしまったら何も考えることもできないため、どのみち死について恐れるのは愚かであるとされた。
- ③ イスラーム教では人はみな神の前で絶対的に平等であり、一般信徒から区別される聖職者は存在しない。
- ④ 荀子は礼によって利己的な本性を矯正すべきとする礼治主義の立場をとる。「法律による強制」を説くのは法家である。

問4 16 正解は②。

- ② スピノザは、いっさいが神の現れであるとする汎神論の立場から、神の現れとしての自然を「永遠の相のもとに」把握することに人間の喜びがあると論じた。
- ① デカルトが疑うことのできない確実なものとしたのは、自己の身体ではなく、自己の精神である。デカルトによれば、いま自分が疑っているという事実だけは疑うことはできず、疑う（思考する）自我＝精神の存在だけは絶対確実だとされる。
- ③ モンテーニュは、自分の知を過信することを戒め、「私は何を知っているか（ク・セ・ジュ）」をモットーとした。
- ④ パスカルは、「幾何学の精神」以外に、全体を直観する「繊細の精神」に固有の意義があると論じた。

問5 17 正解は②。

- A 「意志の自律」が入る。カントは、自身の善意志（内なる声）の命令に従って行為する点に、人間の道徳性の根拠を見出した。これを意志の自律という。「格率」は単に私的にのみ成り立つ実践規則である。

B 「共同性」が入る。ヘーゲルは、カントの説いた自由があくまで主観的なものにすぎないとして、真の自由は、個人の内面を超えて社会共同体において実現しなければならないと考えた。

問6 正解は③。

- ③ ニーチェは、既成の価値観が崩壊しつつある状況を「ニヒリズム」と呼び、そうした状況にあって、みずからの力への意志に忠実に新たな価値を創造する超人としての生き方を説いた。
- ① ニーチェはキリスト教の道徳を、弱者の自己正当化に根ざす奴隷道徳として批判した。
- ②④ ハイデガーの説明である。

問7 正解は①。

- ① 最終段落では、身体的欲求と理性的要求の一方に偏ることなく、両者を正しく追求することが大切だとされている。
- ②③ 第2段落や第4段落にあるとおり、近代以降の西洋思想でも、身体的な欲求の充足を制限しようとする立場が一貫して支配的だったとは言えない。
- ②④ 最終段落では、身体的欲求と理性的要求の両者を正しく追求すべきだとされており、理性的な生き方だけを追求すべきだとは説かれていない。

第4問 政治・経済総合問題

問1 正解は②。

- ② 誤り。マックス・ウェーバーが分類した支配の正統性は (1) カリスマ的支配, (2) 合法的支配, (3) 伝統的支配の三つである。

問2 正解は④。

- ④ 市場の調整機能に全般的信頼を置くのがアダム・スミスの経済思想である。
- ① 重商主義の主張である。
- ② 『経済学および課税の原理』はリカードの著書、比較生産費説により自由貿易を主張した。
- ③ ケインズの修正資本主義である。

問 3 22 正解は④。

- ④ 正文。大企業数社による市場支配は、自由競争市場での価格変動が生じにくく、プライス・リーダーによる**管理価格**が生じやすい。
- ① **寡占市場**では価格調整が働かず、割高になる。
- ② 生産コスト低下でも価格が下がらないことは、「**価格の下方硬直性**」という。
- ③ 大資本でなければ巨額の装置産業に参入できないので寡占的になる。

問 4 23 正解は②。

- ② 消費者契約法（2000 年）を 2006 年に改正し、適格消費者団体が消費者に替わって事業者を提訴できる**消費者団体訴訟制度**が導入された。
- ① 製造物責任法（1994 年）についての記述。特定商取引法は（2000 年）、六販売類型でクーリング・オフ等を定めた法律である。
- ③ 消費者庁は廃止されていない。
- ④ 自動車などのリコール制度は製品に欠陥がある場合である。

問 5 24 正解は④。

- ④ 誤文。最低賃金は都道府県ごとに決定される。
- ①②③は正文。

問 6 25 正解は③。

- ③ 需要曲線が右にシフトし、 $X_2 - X_1$ が増加する。
- ① Pが上昇すれば、 $X_2 - X_1$ は減少する。
- ② 供給曲線が右にシフトし、 $X_2 - X_1$ は減少する。
- ④ Pが上昇するので、 $X_2 - X_1$ は減少する。

問 7 26 正解は③。

- A 誤文。各都道府県レベルの選挙管理委員会は、衆議院小選挙区選挙、参議院選挙区選挙についての事務処理も行う。さらに参議院合同選挙区も設置されている。
- B 誤文。監査委員は、地方公共団体の財政・事業の健全性を監査するものである。公正取引委員会は市場取引の公正性を監視する、内閣府外局にある行政委員会である。
- C 正文。国庫支出金は国から地方への用途を指定した補助金。科学技術研究・貿易振興、義務教育・建設事業・失業対策の一定割合を負担。国の委託事務の全額などの制度がある。

問 8 正解は①。

- ① 誤文。難民条約は 1951 年に採択されたが、日本は大きく遅れて 1981 年に批准した。
- ②③④は正文。

第5問 今日の国際経済

問 1 正解は③。

- ③ 公共財の**非排除性**を述べた内容である。これにより、フリーライダー（ただ乗り）問題が起こる。
- ① **非競合性**は公共財の特徴でもあるが、設問の非排除性ではない。
- ② 市場機構の**価格硬直性**であり、必需品の特徴。公共財は市場での需給関係とは直接関係ない。
- ④ 市場での需給に無関係な価格は、**固定価格制**である。公共財の特徴を表すものではない。

問 2 正解は①。

- ① 誤文。プレビッシュ報告は、途上国への関税優遇措置を主張するもので、アンチダンピング関税は、中進国などが国内価格より安く輸出することへの先進国らの対抗措置である。
- ②③④は正文。

問 3 正解は⑥。

国際貿易の手順は、輸入業者が**信用状**を送付。輸出業者はそれと**船積み書類**を邦銀に行き、代金を**自国通貨**で受け取る。邦銀は相手国銀行に**手形**と**船積み書類**を送り、相手国銀行は**手形**と**船積み書類**を輸入業者に渡し、**自国通貨**で代金を受け取る。相手国銀行は邦銀の当座口座に振り込み、完了する。

Bは手形・船積み書類移動、Aは自国通貨での現金授受、Cは信用状である。

問 4 正解は②。

株式が「自己資本」。銀行借入・債権は「他人資本」で負債扱い。株式・債権は「直接金融」、銀行借入は「間接金融」である。

アメリカ企業は銀行借入（間接金融）の割合は低く、日本企業とは対照的である。株式などの自己資金割合も高く、日本企業はアメリカ企業に比して低い。しかし近年、日本でも銀行借入（間接金融）は減り、株式などの自己資金が増加している。

問 5 正解は③。

- A グラント・エレメントが入る。贈与相当部分であり、返済条件のゆるやかさなどによる数値である。単純な贈与比率とは異なる。
- B ODA の総額が圧倒的なのはアメリカである。
- C GNI 比 0.7% の国際目標を達成しているのは、ドイツなどである。
- D 日本は GNI 比 0.2% であり、近年は実績総額で 4～5 位である。

第 6 問 民主主義と各制度

問 1 正解は②。

日本の裁判所は司法消極主義を採ることが多いが、それと反対の**司法積極主義**の根拠を選ぶ問題である。

- ② 民主政治は多数派の意思で進められるが、それによって少数者の権利が不当に奪われることを防ぐことが司法の役割である、という考え方である。
- ① 国政調査権を持つ国会の判断を尊重すべき、ということから、司法消極主義の根拠である。
- ③ 高度に政治的な行為は司法判断になじまない、とする統治行為論であり、司法消極主義の根拠である。
- ④ 国民主権の原理を尊重すべきとするので、司法消極主義の根拠である。

問 2 正解は④。

- ④ 比例代表制は少数派の政党も議席に反映できるので死票は少ない。
- ① 小選挙区は**死票**が多くなりやすい。
- ② 小選挙区は**二大政党制**になりやすい。
- ③ 比例代表制は多党制になり易く、**政党中心の選挙**になる。

問 3 正解は①。

- ① **普通選挙**の実現によって大衆民主主義が成立し、政党も名望家政党から大衆政党へと変化した。
- ② 市民（ブルジョア）革命についての記述。
- ③ 社会主義（プロレタリア）革命についての記述。
- ④ 社会主義体制で共産党に権力を集中させた民主集中制である。

問4 正解は④。

- ④ 誤文。再審請求で死刑から無罪になった例は、免田事件、財田川事件、松山事件、島田事件がある。
- ①②③は正文。

問5 正解は③。

- ③ 被選挙権も参政権の一つである。
- ① 政党助成法は政党へ資金援助するための立法である。政党の結成は、憲法第21条の結社の自由により認められている。
- ② 「アクセス権」は情報メディアへ接近（アクセス）する権利である。
- ④ 検閲は憲法第21条2項で禁じられている。